

第47回全国商工会議所女性会連合会 石川全国大会に参加して

株式会社ディプロム 代表取締役 貴島 清美



第47回全国大会に参加しました。今回の楽しみは大会のあと、女性会オリジナルのエキスカッションが企画されていたことです。大阪から31名参加し、少し肌寒い時期ではありましたが天候に恵まれ、和気あいあいとしたなかで、親睦が深まり大変楽しい思い出をつくることができました。

1日目、大阪駅から出発したバスの中では源義経が落ち延びた歴史や加賀の温泉、輪島、兼六園の文化などを聞き、美味しいお弁当と、差し入れのおやつで楽しいおしゃべりをしながら、あっという間にホテル日航金沢に到着することができました。夕方の懇親会は輪島市に古から伝わる太鼓「御陣太鼓」が力強く、奥深い文化を代表する芸妓による舞が披露され、脈々と歴史、文化が受け継がれている風情を楽しみました。

2日目、全国各地から3,237名の女性が参加し「能とオーケストラ」コラボレーションのオープニングで迎えられました。日本の伝統ある能の舞と西洋の音楽を組み合わせた舞は歴史、文化伝統を守りながら新しい文化に変革してきた、石川県の取り組みを強く感じることができました。主催者、市町村代表からの挨拶は、地域が一体となって取り組んできた想いが詰まったもので、大会開催まで大変なご苦労と準備があったことに感謝しました。会場には各企業の物産展が展示され、どのブースも特色があり、沢山のお土産を買うことができました。夜は、和倉温泉、加賀屋の姉妹館「あえの風」に宿泊し、温泉とお料理、お酒を堪能し懇親を深めることができました。

3日目、大阪女性会の企画では、「金沢21世紀美術館」を視察しました。「新しい文化の創造」「新たなまちの賑わい創造」をコンセプトにミュージアムとまちの共生により金沢の魅力を伝えるというものでした。個性的なデザインやアートは新しい感性を感じさせ、館内は開放感があり、地域のイベントや体験コーナーなど誰もが参加しやすい環境で自然と芸術にふれる場づくりを提供していました。そのあと金沢ひがし茶屋街を散策し、タイムスリップした感じで雅やかな金沢の風情を楽しむことができました。



石川全国大会 IN 金沢

センターフィールド株式会社 代表取締役 富田 祐子

錦秋が山々を彩る華やかな季節に、「ようこそ加賀・能登・金沢へ。つなごう心 石川で」のテーマのもと全国341女性会から3,237名もの女性経営者が一同に集い、女性会として「地域経済・社会を元気にする」ことを使命とする商工会議所の一端を担っていることを実感出来る全国大会に参加してきました。

「日本における経済成長の大きな原動力は「女性の力」です。今こそ私たち女性会の出番であり、女性ならではの感性や潜在力と実行力など持てる力を最大限発揮するとともに「おもいやり」の心で多様な主体と連携し、女性活躍推進や地方創生に向けて、これまで以上に強いリーダーシップを発揮することで、明るい未来構築に向けて頑張っていきたいと思います。」との全女連会長山崎登美子氏のご挨拶に女性経営者としての果たさなければならない役割と責任の重さに身の引き締まる思いとなりました。

大会は金沢女性会の素晴らしい運営により海の幸、山の恵みを使った食文化をはじめ、伝統工芸や文化、芸術での極上のおもてなしで身も心もときめかせていただきました。

オープニングセレモニーにおける「能とオーケストラのコラボレーション」は見応えのある素晴らしい舞台でした。また毎年行われる女性起業家大賞授賞式は子育て支援や介護ビジネスが受賞されていました。やはり時代の流れのなかで子育て期間中の女性雇用推進や、高齢化社会での必要性を物語っていると感じました。



今回の基調講演は株式会社スギヨ代表取締役社長杉野哲也氏による「(株)スギヨの歴史と経営戦略・ルーツを紐解き将来へ向けて～」と題された講演でした。

スギヨと言えば「カニ風味かまぼこ」江戸時代から続く歴史ある企業です。「健康は最大の幸福なり。努力は最後の勝利なり」を社訓に「社員の幸せのため」「地域に貢献する企業でありたい」を指針にぶれることなく企業の行く末を見通しながら、新しい付加価値創造をし続けているスギヨの企業理念、企業努力を学ばせていただきました。

今後も商工会議所女性会活動指針を胸に日々邁進していきたいと、決意も新たにさせていただいた全国大会でした。今回も学び多き参加となりました。ありがとうございました。



平成27年度の主な事業予定(後半)

- 平成27年
 12月8日(火) 総務委員会 忘年会
 12月9日(水) 企画委員会・組織委員会 合同忘年会
 12月14日(月) 広報委員会 クリスマス会
- 平成28年
 1月18日(月) 新年互礼会
 2月2日(火) 経営事例発表会
 2月 【近畿女性会連合会】理事会&会長会議
 3月10日(木) 【大阪府女性会連合会】総会&講演会

◆広報委員より◆

広報誌を発行にあたり委員会で色々考えながら校正していますが、皆さん読んで頂いていますか?委員会では、わかりやすく伝えるために、文章講座で勉強したり、レイアウトを考えたり、読み手の気持ちになっています。それぞれが、責任を持って役割分担していますのでぜひ読んでください。また、次回は紙面に載せる内容などのご意見あればお聞きしたいので、お声がけいただければ幸いです。

飯田 徳子

※掲載している役職は、全て開催当時のものです。



Vol.33 2015年 秋号

平成27年度 通常総会に出席して

全日本空輸株式会社 執行役員大阪支店長西地区担当 新居 勇子



平成27年6月24日、帝国ホテル「孔雀東の間」にて、尾崎公子名誉会長よりご寄贈いただいた白のブレザーを着用した会員108名とご来賓3名、ご同伴者7名、総勢118名が集まりました。まずは、尾崎名誉会長のピアノ伴奏で「商工会議所女性会の歌」を全員で斉唱し、池上淳子会長のご発声で「商工会議所女性会活動指針」を唱和しました。

続いて池上会長より「各委員会で活発な活動報告を聞き感無量でした。自分たちが出来ることを考え行動し、女性が活き活きと働けることが大事。」と熱い思いを込めたご挨拶をいただきました。尾崎名誉会長からは「以前は良妻賢母以外に生きる道はなかったが、今は男女平等になり、素晴らしい女性経営者が多くなりました。自分を磨くことに喜びを感じている人ばかり。絆があれば人生は何倍も素晴らしいものになります。女性会で生きていく喜びを共に分かち合い、助け合ってまいりましょう。」という活力あるお言葉をいただきました。その後議案もスムーズに可決され、大阪商工会議所佐藤茂雄会長のご発声により乾杯し、昼食会がスタートしました。美味しい松花堂弁当をいただきながら、テーブルごとに会話も弾んでいきました。最後に、5名の会員による「戦後70年」戦争体験を語るをテーマに、凄まじく悲しい実体験を伺い、人として戦争は二度と絶対に起こしてはならないことを実感する、貴重な時間を共有し、充実した総会は閉幕いたしました。

表彰感想

相互タクシー株式会社 代表取締役社長 小野 幸親

当女性会では組織を拡充し、在阪女性経営者のネットワークをさらに広げるため新規会員を募集しています。近年女性の活躍が脚光を浴びるなか、ともに集い、語らい、学ぶ女性経営者同志の輪を広げ、今後の大阪商工会議所女性会の発展と大阪の街づくりなどに寄与することを期待しております。

このたび池上会長が会員増強に尽力された方を表彰する制度を考えられ、平成27年度の通常総会におきまして第1回目(初回)の会員増強感謝状の贈呈を受けました。多くの会員の皆さまが会員増強に努めておられるなか、私を選出していただいたことに感謝申し上げますとともに、この受賞を真摯に受け止め、会員の皆さまとともにこれまで以上に会員増強にがんばってまいります。



第27回 近畿商工会議所女性会連合会総会 洲本大会のご報告

株式会社アシスト 代表取締役会長 上西 美智子

平成27年5月21日、近畿商工会議所女性会連合会総会、洲本大会が、「花と食の宝島」淡路島洲本文化体育館において、近畿54女性会342名の会員参加のもと、盛大に開催されました。

まず、冒頭に池上会長のご挨拶から始まり、総会議事もスムーズに進みました。尾崎名誉会長のご挨拶は、女性会会員は皆強い絆で結ばれた同志・家族、この困難な時代と一緒に乗り越えて行きましょと、力強いお言葉をいただきました。

講演会は、前文化庁長官・近藤誠一氏の講演で、「地方の活性化と世界遺産」との演目で、富士山の世界遺産登録の際の苦労話をお聞きしました。



親睦会は、場所をホテルニューアワジに移し、オープニングは、淡路の民俗芸能を代表する人形浄瑠璃から派生した芸能「淡路だんじり唄」のご披露があり、拍子木・太鼓を打ちながら、浄瑠璃の物語を十数人の人々が語り、演じられました。地元の皆さまの力が入った熱演に感動いたしました。歴史の古い淡路島の文化にふれ、興味深く拝見いたしました。

最後にキャンペーンソング「大好き淡路島」を聞き、尾崎名誉会長のピアノ伴奏で、「ふるさと」を合唱し、閉会となりました。

懇親会は、淡路の海山の幸を堪能させていただき有意義な一日でした。



大阪府商工会議所女性会連合会・研修交流会に参加して

株式会社さわらび 代表取締役会長 吉田 和華子



狂ったような暑さが過ぎるまもなく大雨。水害、その他大きな天災が相次ぎ気の休まることのない日々から一変した秋晴れの素晴らしい9月29日。船が川面に浮かぶのどかな風景を眺めながら旧桜宮公会堂での府女連・研修交流会が開催されました。総勢152名参加のとても盛大な会に参加させていただいたことを大変うれしく感謝しています。

池上淳子会長の挨拶に始まり、財務省より海老原宗貴氏の講演です。

テーマは『女性活躍推進や少子高齢化に対する現状と課題』少子高齢化の進行については、いまさら言うまでもなく2042年の高齢化（65歳以上の人口）ピークを迎えるにあたり、どのように対処されるべきか？われわれ高齢者の今後の生き方を考えさせられるものを感じずにはいられません。いかに『自立』『自律』が必要かという点についても努力しなければならないでしょう。

また若い人たちが結婚前には子供は2～3人と考えていたにもかかわらず、生活のために働かざるを得ない現実や、もっと女性が子育てを安心して出来るようにわが子を預けることのできる保育所施設などを、早急に充実させなければ益々若い女性が働けなくなるのではないのでしょうか？

育児休業給付金が年間予算4100億円もあるらしいですが、中小企業の場合妊娠退職が大半だそうで、各企業がこのシステムを上手に利用できていないということだと思います。

このような実態に納得できないのは私だけでしょうか？仕事も育児も両立できる素晴らしいシステムが立案されることを望みます。

育児などにより仕事をやめてしまうという現実には国にとっても企業にとっても大きな損失です。

労働力が減少するこれからは、若い男女のニートや非正規雇用者を減らし、主婦層の力を増やし、働く母の姿を見せることが子どもたちにとっても、身を持ってよい教育になるのではと思われま。

我々の育った環境と、何不自由のない現在とを比べるのは間違っているのだろうか？と考えさせられる今日このごろです。

経営事例発表会

株式会社アシスト 代表取締役会長 上西美智子さんのお話をお聞きして

山下音楽院 代表 山下 明美



上西美智子氏

株式会社アシストの代表取締役会長である上西美智子さんは、今回、2度目の事例発表でした。

アシストは、昭和44年、東住吉区今川の三軒長屋の真ん中からスタートしました。

創業15年目には社員15名となり、この年、初めての社員旅行をグアムと決め楽しみにしていた矢先、当時、代表取締役社長であった上西さんご主人が、突然、お亡くなりになりました。上西さんは、1日の猶予もなく、アシストの代表取締役社長になりました。この出来事は46年前のことです。

それから年月がたち、上西さんは、還暦を祝う誕生日会で、社員の方々からホテルに招待され、赤いブレザーをプレゼントされました。上西さんは、そのときの感激をいまだに忘れることはありません。本日の事例発表会にも、上西さんはその赤いブレザーを着てこられました。社員たちの優しい気持ちを忘れず、これからも元気で前へ前へと進んでいきたいと、上西さんはお話しされました。

雇用する社員が増え、会社の規模が大きくなると、どうしても社員間、使用者・雇用者間の人的関係が希薄となりがちですが、アシストは、創業時のアットホームな雰囲気を残しつつ、大きな企業に成長されていることがよくわかりました。気さくでお優しい上西さんのお人柄が、社員の方々にもよい影響を与え、社風に反映されているのだらうと思いました。

経営の要『○△□』理論が出来るまで

株式会社徳永電機製作所 代表取締役 徳永 治代

父は大阪市内に多数の不動産を所有、恵まれた家庭環境に生まれた長尾社長は高校卒業後、国立大学へ進学し普通の大学生活を過ごしていました。しかし、在学中に父が亡くなったことにより長尾社長の人生は大きく変わりました。

父の死後、信頼していた親族の裏切りに遭い財産の大半を失うことになった長尾社長は大学を退学し就職を決意し、当時、「母子家庭の子」という偏見が厳しいなか、奇跡的に大手都銀へと入社しました。しかし、その陰には応援してくれる役員の方の力添えがあったことを長尾社長は後に知りました。長尾社長はその恩に報いるため、仕事と勉強に励みました。その結果、長尾社長は、次第に会社に貢献するために組織において必要な能力とは何かを追求するようになり、その答えを求め渡米するが客観的に体系化された学問に出会えませんでした。

帰国後、長尾社長は、自身で各立場に必要な能力について研究を進め、独自の「○△□理論」を確立し、株式会社社員教育総合研究所を設立しました。

長尾社長の逆境にも負けない生き方に大変感銘を受けました。成功の裏には何ごとにもトコン調べる「探究心」と何をすべきかを見極める「課題認識力」、そしてそれを行動に移す「行動力」があったのだとわかりました。

「立場」について部下を叱責する上司を見て組織論を追求し始めたという観察力は素晴らしく、普段の何気ない光景も「探究心」と「課題認識力」を研ぎ澄ませていけば、新たな発見になると学びました。時間の都合上、詳しくお聞きできなかった「○△□」理論ですが、大変興味深いです。

世間一般的にスキルマップ（能力体系図）とは組織（立場、役割）に対し必要スキル（具体的技術）を結びつけただけのものです。そこに「意識（○）」と言う要素が含まれていることが非常に斬新でした。研究と経験により導き出された理論には説得力があります。また機会があれば「○△□」理論を勉強し、会社経営に活かしたいと思います。



長尾 依子氏